

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年9月13日 (2018.9.13)

【公開番号】特開2017-282(P2017-282A)

【公開日】平成29年1月5日 (2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-115312(P2015-115312)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月31日 (2018.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体の投入操作を検出する投入操作検出手段と、

前記投入操作検出手段による投入操作の検出に基づいて遊技者による開始操作を検出する開始操作検出手段と、

前記開始操作検出手段による開始操作の検出に基づいて予め定められた確率で内部当籤役を決定する内部当籤役決定手段と、

複数の表示列によって構成され、前記開始操作検出手段による開始操作の検出に基づいて、遊技に必要な図柄を変動表示する変動表示手段と、

遊技者による停止操作の検出を行う停止操作検出手段と、

前記内部当籤役決定手段の決定結果と前記停止操作検出手段による停止操作の検出とに基づいて、前記図柄の変動表示を停止させる停止制御手段と、

主制御部により制御されて、前記複数の表示列に対する停止操作の順番又は / 及び特定の表示列に停止表示させる図柄が識別可能な情報である指示情報を表示する指示情報表示手段と、

前記主制御部から送信された指示情報を受信する副制御部により制御され、前記指示情報を遊技者が認識できるように報知する報知手段と、を備え、

前記内部当籤役決定手段は、前記複数の表示列に対する停止操作の態様に応じて、変動表示を停止させた場合の図柄の組合せが異なるようにした複数の特定役を予め定められた確率で内部当籤役として決定し、

前記複数の特定役は、遊技者にとって有利な特典が付与される図柄の組合せが表示される場合の停止操作の態様が異なり、

前記複数の特定役のうちの何れかが内部当籤役として決定された場合に、前記指示情報表示手段は、内部当籤役として決定された特定役と少なくとも 1 つの他の特定役とをグループ化して割り当てたグループ指示情報を表示し、

前記グループ指示情報は、内部当籤役として決定された特定役に係る前記停止操作の態様に対応する停止操作を行わせる可能性を高めることが可能な情報であり、

前記副制御部は、前記グループ指示情報を受信した場合に、前記複数の特定役のうちの何れかが内部当籤役として決定されたことを示す報知情報を前記報知手段に報知させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記停止操作の態様には、少なくとも第 1 の停止操作の態様、第 2 の停止操作の態様、及び、第 3 の停止操作の態様があり、

前記グループ指示情報には、少なくとも、内部当籤役として決定された特定役に係る前記停止操作の態様が前記第 1 の停止操作の態様又は前記第 2 の停止操作の態様であり、且つ、前記第 3 の停止操作の態様でないことを示す第 1 グループ指示情報と、内部当籤役として決定された特定役に係る前記停止操作の態様が前記第 1 の停止操作の態様又は前記第 3 の停止操作の態様であり、且つ、前記第 2 の停止操作の態様でないことを示す第 2 グループ指示情報と、があり、

前記指示情報表示手段は、内部当籤役として決定された特定役に係る前記停止操作の態様が前記第 1 の停止操作の態様であるとき、前記第 1 グループ指示情報又は前記第 2 グループ指示情報を、選択的に表示する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかし、特許文献 1 に開示された遊技機のように、7 セグメント LED の表示パターンを複数設けても、表示パターンが単調であると、遊技者が決定された内部当籤役を容易に判別してしまうという問題があった。

ところで、複数の内部当籤役をグループ化し、そのグループ化した情報に対応した報知を行うことが望まれている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の目的は、複数の内部当籤役をグループ化し、そのグループ化した情報に対応した報知を行うことができる遊技機を提供することである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

遊技媒体の投入操作を検出する投入操作検出手段（例えば、後述のメダルセンサ 35 S）と、

前記投入操作検出手段による投入操作の検出に基づいて遊技者による開始操作を検出する開始操作検出手段（例えば、後述のスタートスイッチ 16 S）と、

前記開始操作検出手段による開始操作の検出に基づいて予め定められた確率で内部当籤役を決定する内部当籤役決定手段（例えば、後述の内部抽籤処理）と、

複数の表示列によって構成され、前記開始操作検出手段による開始操作の検出に基づいて、遊技に必要な図柄を変動表示する変動表示手段（例えば、後述の 3 つのリール 3 L , 3 C , 3 R 及び 3 つのステッピングモータ 61 L , 61 C , 61 R ）と、

遊技者による停止操作の検出を行う停止操作検出手段（例えば、後述のストップスイッチ 17 S ）と、

前記内部当籤役決定手段の決定結果と前記停止操作検出手段による停止操作の検出とに基づいて、前記図柄の変動表示を停止させる停止制御手段（例えば、後述のリール停止制御処理）と、

主制御部（例えば、後述の主制御部40）により制御されて、前記複数の表示列に対する停止操作の順番（例えば、後述のストップボタンの押し順）又は／及び特定の表示列に停止表示させる図柄が識別可能な情報である指示情報を表示する指示情報表示手段（例えば、後述の指示モニタとしての払出枚数表示器6a）と、

前記主制御部から送信された指示情報を受信する副制御部により制御され、前記指示情報を遊技者が認識できるように報知する報知手段（例えば、後述の液晶表示装置11）と、を備え、

前記内部当籤役決定手段は、前記複数の表示列に対する停止操作の態様に応じて、変動表示を停止させた場合の図柄の組合せが異なるようにした複数の特定役を予め定められた確率で内部当籤役として決定し、

前記複数の特定役は、遊技者にとって有利な特典が付与される図柄の組合せが表示される場合の停止操作の態様が異なり、

前記複数の特定役のうちの何れかが内部当籤役として決定された場合に、前記指示情報表示手段は、内部当籤役として決定された特定役と少なくとも1つの他の特定役とをグループ化して割り当てたグループ指示情報を表示し、

前記グループ指示情報は、内部当籤役として決定された特定役に係る前記停止操作の態様に対応する停止操作を行わせる可能性を高めることが可能な情報であり、

前記副制御部は、前記グループ指示情報を受信した場合に、前記複数の特定役のうちの何れかが内部当籤役として決定されたことを示す報知情報を前記報知手段に報知させることを特徴とする遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記構成の本発明の遊技機によれば、複数の内部当籤役をグループ化し、そのグループ化した情報に対応した報知を行うことができる。